

みんなの森

第二の教室 四季通じ活用

愛子小学校には「愛子の森」があります。春になるとキラキラと木漏れ

日が差し、さわやかな風が吹き抜けるこの森では、さまざまな学年が活

動をしています。3年生がキノコの菌打ちやカブトムシの観察を

したり、4年生が四季の動物や植物を観察したりと、理科や総合的な学習の時間で森を活用して

ます。愛子の森は遊びや観察を通して自然を感じられる「愛子の宝」になっています。

森を管理して下さっているのは「愛子ハグリツズ」という団体の方々です。「愛子の森を第二の教室にしたい」という考えに賛同した地域の方々が結成したグループです。

このような活動を通して、森の楽しさ、森を大切にする気持ちなどが身に付けられます。それが愛子の森の魅力と言えます。



活動の一つ「マイツリー」。自分たちで決めた木に名前を付け、その木の四季の様子を観察します

ハグリツズは定期的にイベントを行っており、子どもたちは自然に触れ



編集委員 加藤新次、沢里心音、工藤誠人、今野紗那、星優奈、三浦凌(6年) 指導教諭 高杉駿

愛子小

学校名 仙台市立愛子小学校 所在地 仙台市青葉区上愛子新宮前1 電話 022(391)8940 校長 佐藤 雅智 児童 616人



笑顔生む歌合戦

私たちの愛子小では12月に「紅白歌合戦」という行事があります。全クラスが紅組と白組に分かれ、ダンスや歌、演劇などを披露する校内で盛り上がる大きな行事の一つです。発表内容を自分たちで一から考えるので、協力したり友情を深めたりすることができます。何より、たくさんの笑顔が生まれることが最大の特徴です。



今回は 多賀城八幡小(多賀城市) 鶯沢小(栗原市)

中埠小

学校名 美里町立中埠小学校 所在地 美里町荻埦朝日壇78 電話 0229(34)2331 校長 遠藤 実 児童 94人



五つの心大切に

学校には「中埠小五つの心」という合言葉があります。一つ目は「おはようございます」という明るい心、二つ目は「はい」という素直な心、三つ目は「すみません」という謙虚な心、四つ目は「わたしがします」という積極的な心、五つ目は「ありがとうございます」という感謝の心です。合言葉を大切に、みんなで協力し合っていきます。

学年こえて

遊びやあいさつ 強まる絆

私たちが通っている 楽しみにしています。中埠小学校では、全校の たてわり遊びの時間には、6年生が中心となり、

みんなでいろいろな活動をします。校庭では氷鬼やドッジボールなどで体を動かします。室内では、新聞の上に立って負けた方が新聞を折っていく「新聞じゃんけん」や、勝った方が王様になる「王様じゃんけん」などを楽しみます。

朝には昇降口前で「あいさつ運動」に取り組みます。元気に声を合わせてと気持ちよく、あいさつを返してもらえるとうれしいです。活動後には積極的にあいさつができるよう反省会をします。

新型コロナウイルスの感染予防を意識しながら、みんなが心を一つに笑顔と優しさあふれる学校にしていきたいです。



みんなが楽しみにしているたてわり活動。「たてわり遊び」(上段)と「あいさつ運動」(右下)「長なわ大会」(左下)の様子

3学期には「たてわり対抗長なわ大会」があります。高学年が下級生の



編集委員 瀬戸美沙希、相沢梨乃、氏家歩愛、佐々木快人、原大樹(6年)小野寺陽稀、佐藤陽夏太、本田優衣、横尾瑠音(5年) 指導教諭 三浦佳奈